

風のたより

第3号

子ども支援ネットワーク With Wind

2015年2月4日発行

みなさま、こんにちは 子ども支援ネットワーク With Windです。
今年もよろしくお願いいたします。

私たちは、2013年7月から宗像市子ども育成課と協働で
子どもの居場所事業を始めました。
子どもの居場所事業の主な活動は、子どもプレーパークの開催
とMUNAKATA BASEという中高生の居場所づくりです。

そこで出会った子どもたちから、たくさんの笑顔やつぶやきを
頂いています。お便りにしてお届けします。

今年もやりました～ 玄米餅つき！！



「楽しかった。」「おいしかった。」「始めて玄米餅食べた。」
「餅つきが楽しかった！！」…と、大人も子どもも…
そして、最後には、「また、やってほし～い！！」
「また、やいた～い…。」

わかりました。

また、来年、この時期にやりましょ～う！！お楽しみに！！

みなさん心配していた筋肉痛は大丈夫でしたか？
いつもご協力頂いている脊戸さん、ありがとうございました。



2014年11月29日

子どもの権利及び児童虐待防止に関する講演会

こどもにやさしいまちづくりのために 「今大人がしないといけないこと」

長崎女子短期大学学長 浦川末子さん



◆参加いただいた皆さんからのアンケートをまとめました。

- ・たくさんの大人が子どもの怒りや悲しみの感情を（否定せずに）きちんと受け止めることができる力を持つことが必要。ここが重要なポイントだと思います。
- ・子育ては、地域の協力を得て育てるということを忘れずにしていきたいです。
- ・子どもに、安心と信頼を感じさせる大人となれる接し方をしていく必要性に気づくことができた。
- ・親子のきずなが一番大切だし、地域の安心できるおばさんになりたいと思いました。
- ・安定した愛着を与える（築く）ことができる、重要な他者にならなければならないということに気づかせていただきました。
- ・先生のお話を聞いて、今後の地域住民としての課題に気づかされました。自分たちにできることから始めたいと思います。
- ・地域の大人の連携の大切さをこれからの地域活動に活かしていければと思います。
- ・先生のパキパキした潔い姿に信念の強さを感じました。もうひと働きせんばいかん！！がんばります。
- ・畑仕事をしながらのお父さんの話、ぐっときました。子どもが元気にいるから生きていける。その通りだと思いました。子どもの悲しみや不安に目をむけられる大人になろうと思います。
- ・「心の安定」我が子にきちんとできているか改めて考えました。また家に帰り、子ども達をしっかりと抱きしめたいと思います。
- ・いろいろな事例に関わられて、子どもの声の代弁を話されたことが印象に残った。とにかく、子どもたちをいっぱい抱きしめてあげたいと思いました。
- ・向き合う、寄り添う大人が子どものまわりにいることで、救われる子がいるということ



今後の予定

◆子どもプレーパーク(メイトム宗像 本館横の庭)

第2、第3、第4土曜日と第4日曜日(10時～16時)

2月14日、21日、22日、28日、

3月7日(春祭りで開催・・・10時～15時)

3月14日、21日、22日、28日

◆出張プレーパーク◆(10時～15時・雨天時コミセン内)

3月8日(日)赤間コミセン横の公園にて

3月31日(火)東郷コミセン外庭にて

◆放課後プレーパーク◆15時～17時

日の里4号公園・・・第1火曜日

自由ヶ丘11号公園・・・第2火曜日

乳幼児さんは、保護者同伴で遊びに来てね～♪

講演会の後、浦川先生とWith Windとで交流会を行いたいへん有意義な時間を持つ事が出来ました。浦川先生が遺言と言いながら話して下さった内容を心して受け止め、今後の活動に活かしていきたいと思えます。子どもの元気な姿、笑顔をまちじゅうでみられる宗像市にしていきたいです。

是非、お力を貸して下さい。随時仲間募集中！！

子ども支援ネットワーク With Wind
問い合わせ先 090-9407-3432 (藤原)

子ども支援ネットワーク With Windのホームページ
ご覧ください。 <http://withwind.org/>